

総合技術研究所と県立広島大学の研究成果で活魚販売へ  
**魚の傷が治りやすくなる技術を活用し県内企業が新事業を開始**

5/16 株式会社クラハシ代表取締役社長が知事を表敬訪問 5/17 出荷設備の現地説明会開催

広島県立総合技術研究所水産海洋技術センターと県立広島大学との共同研究による成果を活用して、(株)クラハシ(福山市)が設立したマリンネクスト株式会社が、活魚の蓄養・配送事業を展開します。

この事業では、広島県の保有特許「ていえんぶんちくようぎじゆつ低塩分蓄養技術」を利用し、活魚の傷を治しながら活力のある良い状態で飼育することにより、需要に応じて安定的に出荷することが可能になります。

5月から出荷を開始したことを報告するため、同社の代表取締役社長天野氏が知事を表敬訪問されます。

また、この広島県特許技術を導入した同社施設について、記者向け現地説明会を実施します。

◆ **知事訪問**

日時：令和元年5月16日(木) 16:15~16:30

場所：知事室

目的：広島県保有技術の活用の謝辞や今後の事業展開の報告  
訪問予定者

所属	役職	氏名
(株)クラハシ	代表取締役社長	天野 文男 (あまの ふみお)
(株)クラハシ	常務取締役	倉橋 彩子 (くらはし あやこ)
県立広島大学	理事長・学長	中村 健一 (なかむら けんいち)
県立広島大学	人間文化学部准教授	松本 拓也 (まつもと たくや)

◆ **記者向け現地説明会**

日時：令和元年5月17日(金) 要事前申込

14:00~15:00 (受付13:30~)

場所：三原市糸崎9-4-1 マリンネクスト株式会社 糸崎蓄養施設

内容：活魚(マダイ等)の蓄養状況、導入設備、県保有技術の記者向け現地説明

◆ **新事業の概要**

仕入れた活魚を、活力のある良い状態に保つことが可能

需要に応じて、高鮮度の瀬戸内の活魚を県内の寿司店を中心に首都圏等にも販売予定

投資総額 : 1億2千万円

新建屋建設 : 平成31年3月増設 三原市糸崎10t水槽2基

売上高見込み：初年度 5億5千万円

5年後 10億円

**取材対応**

総合窓口：総合技術研究所企画部(研究開発課)(山本)

技術窓口：水産海洋技術センター(若野, 柳川)

県大窓口：県立広島大学(地域連携センター)(近村)

企業窓口：株式会社クラハシ(管理本部 倉橋彩子 084-941-3510)

# 低塩分蓄養技術 記者向け現地説明会

広島県の保有技術「低塩分蓄養技術」の説明と、技術導入した活魚の蓄養施設について、記者向け現地説明会を開催します。

日時：5月17日（金） 14：00～15：00（受付13：30～）

場所：三原市 糸崎 9-4-1 （駐車場有10台）

マリンネクスト株式会社 糸崎蓄養施設



## ◆活用する本県の特許技術

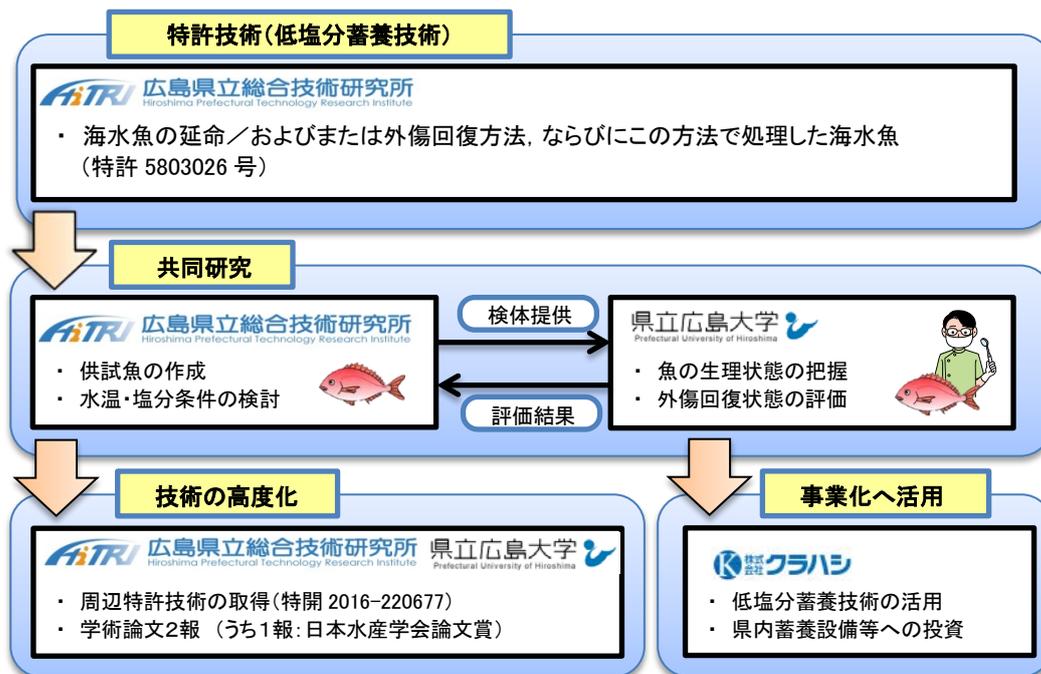
漁獲で傷ついた魚を海水よりも塩分濃度の低い水で飼育することで外傷回復を促し、延命させることが可能です。（特許第5803026号）

この技術によりこれまで死にやすく利用が難しいとされてきた天然魚を高品質のまま備蓄することが可能となります。

## ◆共同研究と事業化の流れ

今回事業で活用される技術は、広島県立総合技術研究所 水産海洋技術センターと県立広島大学との共同研究の成果を、(株)クラハシへ技術移転して事業化されました。

研究成果については、平成30年度水産学会論文賞を受賞しています。



..... (切り離さないでFAXしてください) .....

FAXで受け付けします。送信先：082-223-1421 総合技術研究所企画部 宛

所属	お名前	電話番号

ご記入いただいた情報は、総合技術研究所からの各種連絡・情報提供のために利用することがあります。